



議 会

だ よ り

78号

令和7年
5月22日発行

発行／設楽町議会 編集／広報委員会
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp



も く じ

- 議長就任あいさつ・議会構成 …… 2
- 議会行政視察報告 …… 3
- 全員協議会・定例会・委員会報告 …… 7
- 議員5名の一般質問 …… 11
- 議会活動報告 …… 14



就任の ごあいさつ

議長 金田 敏行

町民のみなさまには、平素から町議会に対し大変深いご理解とご協力を賜っておりますことに、心より御礼申し上げます。

5月1日の臨時議会にて議会構成が行われ、議長職を拝命させていただきました。身に余る光栄と存じます。

同時に、議決機関である議会の長の責任は極めて重大であり、身の引き締まる思いでございます。さて、設楽町を取り巻く環境は毎年変化しています。設楽ダム問題をはじめ少子高齢化社会に対応した医療・福祉・教育の充実、地方創生への取り組み等、重要な政策課題が山積しています。

私たち議会は、町民の皆様方から選ばれたということを肝に銘じ多様化する住民のニーズの変化を的確に把握し町執行部とも連携して参ります。町民の皆様にとってより身近で開かれた議会を目指して皆様の期待にお応えしたいと、固い決意で町政発展のために、誠心誠意努めてまいります。ご了承ください。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

新しい議会構成

議長 金田敏行

副議長 原田直幸

総務建設委員会
◎定数 9人

委員長 七原 剛

副委員長 原田純子
委員 村松一徳
村松純次
加藤弘文
今泉吉人
山口伸彦
田中邦利
原田直幸

文教厚生委員会
◎定数 9人

委員長 村松純次

副委員長 村松一徳
委員 原田純子
七原 剛
加藤弘文
今泉吉人
山口伸彦
田中邦利
原田直幸

議会運営委員会
◎定数 6人

委員長 今泉吉人

副委員長 山口伸彦
委員 村松純次
七原 剛
田中邦利
原田直幸

設楽ダム対策
特別委員会
◎定数 6人

委員長 山口伸彦

副委員長 原田直幸
委員 村松純次
原田純子
七原 剛
加藤弘文

監査委員(議会選出)

加藤弘文

東三河広域連合
議会議員
加藤弘文
山口伸彦

北設広域事務
組合議会議員
金田敏行
村松純次

広報委員会

委員長 原田純子
副委員長 村松純次
委員 村松一徳
七原剛

議会活性化
委員会
(議員全員10人)

議会行政視察報告

令和7年1月15日(水)16日(木)に視察研修を行いました。議員10名と議会事務局長が参加しました。今回は、「森林行政」で成果を上げている2自治体を訪問しました。

◆ 町有林化を推進している先進地 兵庫県佐用町(さようちょう)

(人口14,941人。面積307.44km²。高齢化率43.2%) 森林面積83%
佐用町・上月町・南光町・三日月町の4町合併(h17)

(1) 町有林化を推進⇒森林環境譲与税の活用

- ① 一律10円/㎡で土地を買取る。
スギ・ヒノキは立木密度で100円～750円
単価で算出。
- ② 林地台帳の精密化。
(レーダー測量、CS立体図から解析)
- ③ 登記簿の境界線でも買取る。
- ④ 契約や登記も町が一括管理する。

(2) スマート林業を目指し、樹種変更し 早生樹(ユーカリ)を推進

(3) 「木材ステーションさよう」

- ・6,000円/tで買取る(現金と地域通貨半々)。
搬入量は高齢化等で減少傾向。

(4) 「佐用町町有林化促進事業要綱」

- ・10年間の時限事業または町有林化5,000haまでと明記。現在も買取りは増加中。



◆ 「奇跡の村」として全国から視察殺到 岡山県西栗倉村(にしあわくらそん)

(人口1,333人。面積57.97km²。高齢化率38.7%) 森林面積93%

(1) 地域おこし協力隊を年間50名配置 (3年間後の定着率80%)

(2) 森林事業実行体制の改革 200名の移住者が森林関係会社を起業

(3) 村産材を利用した公共施設の建設・ 維持 自らの村を自らの財産で賄う

(4) ローカルベンチャー事業

- ・百年の森構想・森の学校。
村内で森林資源を完結させる方式へ。
- ・移住者専用の宿泊施設建設。関係人口増施策。
ふるさと納税。J-クレジット推進。森林リデザインで見える化。水力と太陽光と電気自動車。
鰻の養殖。地域おこし協力隊の活用。丸太の利用価値の向上。
森林資源が財産、収益の分配等々持続可能な社会の実現に向け、様々な分野で挑戦し続けている。



令和7年度 予算

令和7年度の設楽町一般会計、特別会計、公営企業会計当初予算を可決しました。

歳入歳出総額	一般会計	65億8,332万円
	特別会計	8億8,101万円
	公営企業会計	23億8,562万円
	合計	98億4,995万円

主な歳出予算の概要

北設広域事務組合負担金（民間移行事業）	172,940千円
水力発電事業PFIアドバイザー業務委託	51,403千円
町営住宅整備事業（公共下水道接続工事）	33,000千円
中学生海外派遣事業	21,925千円
旧清瀬中学校講堂・旧田口児童館解体工事	20,500千円
きららの森整備基本設計業務委託	20,000千円
オリエンテーリング事業費（合併記念大会・AsJYOC）	14,740千円
第3次総合計画策定支援業務	4,901千円

反対 田中邦利議員

令和7年度一般会計予算は、次の理由で反対である。
ダム関連事業が町財政を圧迫している。世界ラリー選手権、アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権などは、財源に余裕のある時の施策だ。
マイナ保険証はあくまで任意。資格確認書が届けられ、保険診療はこれまでどおり受けられる。
国保料は上がる一方だ。耐え難い高額保険料を平然と課すことは理解できない。
学校給食の全額無償化は半額補助のままだ。
地方税が過去最高を更新する見通し。住民要求実現の財源は不十分ながら確保できている。町民の願いにこたえる財政運営を期待する。

賛成 村松純次議員

まず観光業の支援やアウトドアを軸とした事業の強化、豊かな自然環境の魅力を最大限に引き出すためには適切な支援が不可欠、これにより地元雇用創出や経済活性化が期待される。
また、教育環境の整備や福祉サービスの向上の予算充実は、町民の生活の質を向上させ、将来の設楽町を担う人材育成に欠かせない。
さらに、環境保護や持続可能な社会の実現に向けた取り組みも、自然資源を守りながら次世代に引き継ぎ、地域の発展につながるものと確信している。
以上の理由から賛成する。
この予算案が実現し、安心して笑顔で暮らせる地域となることを心より願う。

討論 〔一般会計〕

予算特別委員会 主な質疑・答弁内容

- Q 本庁舎の電話更新工事が 924 万 9000 円と高額な理由は何か。
- A 設備の老朽化及び、県の高度情報通信ネットワークに対応する為である。
- Q DX推進職員研修の内容にアプリコンテストやアプリの使い方指導が含まれているが、職員が個人で勉強するものではないのか。
- A 職員の自ら問題解決をする意識が低下している為、継続して改善していける職員を育てるものである。
- Q DX推進職員研修はどのような形で行うのか。
- A 先行自治体の研修内容の中から有益なものを取り入れて行う。今後も他の自治体の研修内容を注視していく。
- Q 今後、財政規模の縮小に合わせて職員も減らさねばならないが、計画はしているのか。
- A 業務の効率化により会計年度任用職員を減らせる体制作りから始めていく。
- Q 「したらワークス共同組合」のマルチワーカーを人手不足の介護現場へ派遣できないか。
- A 現在 4 名のマルチワーカーを増やし体制を整えれば対応できるようになる。
- Q 地域おこし協力隊の制度を取り入れて何年が経過し、延べ何人を採用し何人がこの地域に残っているのか。
- A この制度は約 10 年前から取り入れており、延べ 23 人採用し卒業されたのが 14 人、現在この地域に残っているのは 6 人である。
- Q 地域おこし協力隊に応募してきた方は全員採用しているのか。
- A 点数化した審査基準を設けており、基準点に満たない方は不採用になる。
- Q 昨年に比べ業務委託が増えているが、職員がやれることは職員がやっていかないと財政の健全化に繋がっていかないのではないか。
- A 外部に委託できるものはある程度委託にまわさないと、職員ができる業務が増やせない。根気よく職員の意識改革を進めていく。
- Q 企画ダム対策課に県職員がもう 1 人派遣されるが、どのような業務につくのか。
- A 設楽ダムの担当職員として派遣されてくるものである。
- Q 町指定金融機関を同一支店内の振込でも手数料のかかる三菱UFJ銀行から同じ条件なら手数料のかからないJA愛知東へ切り替えてはどうか。
- A 現在検討中であり、今後も検討していく。
- Q 旧清嶺中や旧児童館の解体が予算化されているが、設計を組んでから 2 年経つ旧奥三河郷土館の解体工事はいつ行うのか。
- A 旧郷土館の解体費用が高額であり、他の事業との兼ね合いでなかなか着手できないのが現状である。
- Q 第三次総合計画策定支援業務委託について、どんな内容をどこに委託するのか。
- A 町民会議の取り回し、審議会等の運営、住民アンケートの立案・集計・分析を名古屋大学に委託したいと考えている。
- Q 水力発電事業PFIアドバイザー業務委託の内容はどのようなものか。
- A PFIの進め方に則り、PFI事業方針の公表、当事業の特定事業選定に向けた準備を委託するものである。
- Q 水力発電事業PFIアドバイザー業務委託は 5100 万円強と高額であるが、補助金等の対象にはならないのか。
- A 今回の業務が対象となる補助金については確認できていない。新年度になって募集等があれば都度検討したい。
- Q 設楽ダム建設工事の工期が延長されたが、更なる工期延長はあり得るのか。
- A 無いと信じており、ダム工事事務所に対してはこれ以上の遅延は困ると常々お願いしている。
- Q 町イベント補助金、地域づくり交付金が大きく減額しているが、関係人口の創出という観点から逆行しているのではないのか。
- A 地域づくり交付金については人口等の割合で決まっており、過去の実績に合わせた減額となっている。町イベント補助金についても過去の実績から減額している。
- Q 合併20周年オリエンテーリング大会のPR活動を従来より積極的に行わないと広い意味での関係人口の創出に繋がらないのではないのか。
- A 積極的にPRを進めていく。

- Q 有害鳥獣の捕獲予定数が昨年と大差ないが、鳥獣被害に比べ少ないのではないのか。
- A 現在活動している捕獲従事者の人数から割り出した最大限の数値である。
- Q 鳥獣の捕獲から侵入防止へ政策をきりかえるべきではないか。
- A 根本的には鳥獣の数をある程度減らさなければならぬ。
- Q 令和7年度の森林経営管理事業に田内地区が選ばれた理由はなにか。
- A 状態の悪い所有者不明森林があり倒木の恐れがあること、道の駅したらからの景観の確保等が理由である。
- Q 森林経営管理事業は今後どのように取り組んでいくのか。
- A 今後については現在検討中である。
- Q 所有者不明の森林は町内にどの程度あるのか。
- A 町内全域の把握はできていない。
- Q きららの森整備計画の中でライフサイクルコストの把握もするべきではないか。
- A 今後、実施設計に向け議論していきたい。
- Q きららの森整備計画で基盤基本設計が計画されているが、どんな調査を行うのか。
- A 駐車場から奥へ池沿いの通路を作ることが可能かといった調査を行う。
- Q 町営住宅の長期の修繕計画を立てているのか。
- A 計画はあるが、財政面が厳しく予算がつかないのが現状である。
- Q 防災アプリに緊急情報が文章として反映されない場合があるが、改善できないものか。
- A 防災アプリへの文字入力徹底が不十分であり、今後改善していく。
- Q 昨年まで運転免許証の返納者に対する金銭的サポートがあったが、今回予算化されなかったのはなぜか。
- A 前年度まで対象者が0件だったので計上しなかったが、対象者が現れれば補正予算で対応したい。
- Q 町営バスは日曜運休しているが、乗客がいなければならぬなら豊鉄バスも日曜運休にして経費を削減してはどうか。
- A 観光の面も考えると豊鉄バスの日曜運休は考えていないが、経費の削減については今後も考えていく。
- Q 高齢者ふれあいゴミ収集事業の扶助費が1回150円であるが見直しの予定はないのか。
- A 登録団体や利用者から見直し等の意見はないが、必要があれば検討していく。
- Q やすらぎの里の運営に一般財源から6000万円近く支出されるが、町財政が厳しい時でもあり削減できるところはないのか。
- A 経費削減の努力はしているが、なかなか削減できないのが現状である。
- Q 田口宝保育園と清嶺保育園が合併するが、運営費の減少等経済的な効果はあるのか。
- A 具体的な計算はできていないが、職員が増えるので多少増額になる。
- Q 新規で高齢者の保健事業と介護事業の一体化事業が挙げられているが、何年くらい継続する予定か。
- A 高齢者の医療費や介護費の抑制にも繋がっていくので、形や内容は変わっても継続していきたい。
- Q 新城北設ゴミ処理広域化事業の負担金が令和7年度発生しないのはなぜか。
- A 令和7年度に基本計画を策定するはずが次年度にずれ込んだため8年度に負担金が発生する。
- Q 新城北設ゴミ処理広域化事業の現状はどまですんでいるのか。
- A 候補地を絞り込む作業の他、国から交付金を支出してもらうための地域計画を作成している。
- Q 他所の自治体では給食無償化が進んでいるところもあるが、設楽町は完全無償化にはしないのか。
- A 現在国のほうで給食無償化の話が出ており、国が無償化の方針を採れば設楽町も従う。
- Q 給食調理場を1か所に集約した場合、異物混入等のトラブルが起きた時はどう対応するのか。
- A 異物混入等の緊急時のマニュアルはあるが、その後の対応については施設の完成までに策定する。
- Q 学校の部活動の地域移行についてどこまで進んでいるのか。
- A 休日、土曜日の練習を地域に移行することについて学校や関係団体と話し合いを進めている。地域の野球や卓球のクラブ等との調整についても話し合っている。

令和7年度 町長施政方針



小学校や保育園の統合など、これまでどおりの事業や施策の実施、施設維持が困難になることが見込まれるが、10年後の将来を見据え、全世代の町民の皆さんが健康で楽しく生活するとともに希望の持てる町を実現していく。具体的には、

1. 令和9年度から始まる第3次設楽町総合計画に向けて、策定に取り組み、町の将来を見据えた計画づくりを行う。
2. 新城市、北設3町村、根羽村と新しいゴミ焼却施設の建設に向けた基本構想の策定を進め、基本計画の作成に着手する。
3. 「アウトドアのまちしたら」を普及・推進するため、アジアジュニア・ユースオリエンタリング選手権大会期日に合わせ、合併20周年記念オリエンタリング大会を開催する。
4. バス停環境整備の一環として、田口バス停の待合室の整備やデジタルサイネージを設置する。
5. 災害時の救援所、クーリングシェルターに指定されている「したら保健福祉センター」内のエアコンの修繕を行い、町民の安全・安心に繋げる。
6. 児童・生徒の減少推計を踏まえ、今後の小中学校の在り方について、学校規模適正化委員会を設置して検討していく。

令和7年度 教育方針



町の宝である子どもたちの健やかな成長を願い、地域や学校と連携し、町当局と協議・調整を重ねながら、教育行政の着実な推進を図っていく。具体的には、

1. 学校が児童に対して果たすべき様々な役割等を踏まえ、新たな学校統合も視野に入れ、方向性を示していく。
2. 地域で学校運営を支えていく体制を整えるため、コミュニティ・スクールの設置を進める。
3. コロナ禍を契機として見合わせていた中学生海外派遣事業を再開する。訪問先をニュージーランドとし、ファームステイにより異国での農業体験を中心に、現地の中高校生との交流も行う。
4. 小学校でのキャリア教育を推進し、地元企業での学習機会を設けることで、地場産業に対する理解を深め、地域を愛する心を育む。
5. 児童生徒や保護者、教職員が悩みごとを相談できるようなメンタルヘルスに関する体制の構築を図る。
6. 奥三河郷土館では、戦後80年の節目を迎えることから、旧田峯小学校で保存している「青い目の人形」を展示しながら、戦争と平和をテーマに特別展を開催する。

第1回 全員協議会 (2月)

2月21日に全員協議会を開催し、協議事項2件を審議しました。

- ・中学生海外派遣事業について【教育委員会】
- ・田口特産物振興センターの指定管理の見直しについて【産業課】

第1回 定例会 (3月)

3月4日から3月25日までの22日間の会期で開催しました。4日は議案の上程、説明、採決及び各委員会への付託を行い、14日に設楽ダム対策特別委員会の開催を、17日に予算特別委員会(総務建設委員会所管分)及び総務建設委員会、18日に予算特別委員会(文教厚生委員会所管分)及び文教厚生委員会を開催しました。最終日の25日は、各委員会に付託された議案の審議結果の報告、採決を行うとともに追加上程された議案の審議・採決を行いました。

件名	結果
同意 設楽町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成で同意 任命された方(敬称略) 小川晃徳 正木英登 近藤肇 佐々木裕也 氏原ゆり 伊東敦彦 金田治久 後藤就一

主な質疑

Q 選考方法は。

A 推薦と自薦との併用である。

件名	結果
議案 規約変更2件、条例改正13件、一部廃止1件 / 計16件 規約変更 ①東三河広域連合規約の変更について ②指定管理施設及び指定期間の変更について 条例改正 ③アナログ規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ④設楽町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について ⑤設楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について ⑥設楽町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について ⑦設楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について ⑧設楽町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について ⑨設楽町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について ⑩設楽町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について ⑪設楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例について ⑫設楽町道路占用料条例の一部を改正する条例について ⑬設楽町流水占用料等に関する条例の一部を改正する条例について ⑭設楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ⑮設楽町過疎地域持続的発展支援における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 一部廃止 ⑯町道路線の一部廃止について	①～⑨、⑫～⑮ 全員賛成で可決 ⑩ 賛成多数で可決(8:1) ⑪ 賛成多数で可決(8:1) ⑯ 賛成多数で可決(8:1)

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
条例改正⑩	○	○	○	○	○	○	○	×	○
条例改正⑪	○	○	○	○	○	○	○	×	○
一部廃止⑯	○	○	○	○	○	○	○	×	○

主な質疑 | 東三河広域連合規約の変更

Q どのような理由で、規約の一部変更が行われたのか。

A 第3期の計画期間が令和7年度から開始されることに伴い規約変更が必要になるため。東三河8市町村の休日の滞在人口を増やし、若者の生業づくりとして15歳～29歳の割合を増やすことを目的として変更された。

町道路線の一部廃止について

Q 川向地区・マンゼ新直線の一部がダム本体工事の残土処分地になる為、町道路線の一部が廃止されると理解するが、それは公園を作るためか。

A 川向公園を目的としている。

Q ダムサイトから掘削した残土が交流拠点予定地に積み重なっているが、どこへ搬出されるのか。

A 残土処理場として、3公園を含め予定されている。

件名	結果
議案 令和6年度補正予算 一般会計、7特別会計、及び2事業会計 / 計12件 ①一般会計(第8号) ②国民健康保険特別会計(第5号) ③後期高齢者医療保険特別会計(第2号) ④町営バス特別会計(第2号) ⑤つく診療所特別会計(第1号) ⑥田口財産区特別会計(第1号) ⑦段嶺財産区特別会計(第2号) ⑧津具財産区特別会計(第2号) ⑨簡易水道事業会計(第2号) ⑩下水道事業会計(第3号) ⑪一般会計(第9号) ⑫簡易水道事業会計(第3号)	①～⑫ 全員賛成で可決
令和7年度予算 一般会計、8特別会計、及び2事業会計 / 計11件 ①一般会計 ②国民健康保険特別会計 ③後期高齢者医療保険特別会計 ④町営バス特別会計 ⑤つく診療所特別会計 ⑥田口財産区特別会計 ⑦段嶺財産区特別会計 ⑧名倉財産区特別会計 ⑨津具財産区特別会計 ⑩簡易水道事業会計 ⑪下水道事業会計	① 賛成多数で可決(8:1) ② 賛成多数で可決(8:1) ③ 賛成多数で可決(8:1) ④～⑫ 全員賛成で可決

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
①	○	○	○	○	○	○	○	×	○
②	○	○	○	○	○	○	○	×	○
③	○	○	○	○	○	○	○	×	○

件名	結果
その他 所掌事務の調査報告 ①設楽ダム対策特別委員会の報告	
閉会中の継続調査申出 ①議会運営委員会 ②設楽ダム対策特別委員会	

総務建設委員会

3月17日開催 / 付託された議案10件を審議しました。
 議案9号、アナログ規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、文教厚生委員会質問終了後採決のため、その他の9議案を採決、原案のとおり可決すべきと決しました。

設楽町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

- Q スマートフォンでマイナンバーカードが使えるようにしたという事か。
 A 電磁記録に含まれる、スマートフォンにマイナンバーカードの機能を持たせ本人確認などが可能になる。

文教厚生委員会

3月18日開催 / 付託された議案2件を審議しました。
 付託された議案はすべて原案のとおり可決すべきと決しました。

設楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

3月14日開催 / 所掌事務の調査を行いました。

設楽ダム建設事業、関連事業の進捗状況について国土交通省と愛知県と設楽町から説明を受け、その後県道設楽根羽線4号橋、町道上原荒尾線、折地地区の残土捨場予定地の現地視察を行いました。

▼折地地区の残土捨場予定地

主な質疑

Q 田峯バイパス、来年度はどういった工事を予定しているのか。

A 現在川側に仮橋をかけ道を作っている、前後の取付およびトンネルへ向かう道の掘削や法面対策を行う予定。

要望 和市清崎線の早期開通を願う。

Q 上原荒尾線、遠山建設裏側の盛土工事、工期的にどのくらいかかるのか、また2工区も早期着手していただきたいがどうか。

A 補強土壁が終わり、あと土工のみだが、現道R257部分の切替に通行止めが出来ないため時間がかかる、なるべく早く進め2工区に入っていきたい。

Q 道の駅裏側の親水公園田内側、岩掘削工事に伴う近隣の家屋事前調査を受けていないと、工事の影響が家屋にあった場合補償対象外になってしまうといった説明をきちんとされているか。

A 各家へ今一度確認をして進めていく。

Q 隣町の建設会社の寮で痛ましい事件が起こってしまったが、当現場宿舎での教育や管理はどのようになっているか。

A 住民の方に迷惑のかからないように教育はしている、またご意見があればその都度聞きながら改善していきたい。

Q 外国人職員の方々に工事期間中設楽町へ住民票を移していただく事はできないか。

A 確かに町民になっていただくのが良いと思いますが、個別の事情もありますので今回話が合ったことはJVの方に伝える。

Q 山村都市交流拠点下の土地、水はけ調査の進捗状況、また改善方法は。

A 一通り外観検査は終わっている、地下水の位置が高くなっていることも過去のデータから確認できた、盛土内に入って来る水を排水処理し影響を抑えられると考える。

Q 残土処理上の盛土かなり多く、長い時間置いてあるが今後どうされるのか。

A 次のコンクリート骨材に使えるものと、盛土に使うものとの振り分けを行っているため。



▲ 県道設楽根羽線4号橋



◀ 町道上原荒尾線

第2回
臨時会
(5月)

「新議長・副議長の選挙」

前議長 加藤弘文 ⇒ 新議長 金田敏行

前副議長 今泉吉人 ⇒ 新副議長 原田直幸

5月1日に新しい議会構成が決まりました。(2ページを参照ください)
他に、専決処分の承認1件 条例改正1件 の議決がありました。

件名	結果
▪ 設楽町税条例の一部を改正する条例	承認
▪ 刑法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例について	可決

一般質問



村松 一徳 議員



QRで
動画で
見よう!

積雪時の道路除雪作業

質問 除雪についての要望などはあるか。

建設課長 高齢者を中心にいただいている。

質問 効果的な除雪についての方策はないか。

建設課長 国道→県道→町道の順で行っている。林道の除雪はない。

重機・人手不足には苦慮しており融雪剤の予防散布で対応している。

質問 名倉・津具地区には除雪機(各1台)の貸出をしているが、押すタイプの除雪機はないか。

総務課長 飛ばすタイプのみ。主に歩道の除雪用。私有地利用は不可。

伝統芸能の継承と支援を

質問 支援金等の現状は。

教育課長 国指定5万円、県指定3万円、町指定1万円を支援している。

質問 これまでの文化庁の補助金の実績は。

教育課長 参候祭に47.6万円、田峯田楽に267.8万円の衣装新調で補助を受けている。

質問 町として過去の答弁の認識を変えることは考えないか。

教育課長 地域の方に行っていただくことが大切。「行政は口を挟むことができない」という認識は変わらない。

質問 花祭りなどの伝統芸能を披露する機会は増やせないか。

教育課長 20年前の愛知万博で実施、成果はあったが、保存会の負担や苦労もかなりあった。

教育長 保存会の方でやって欲しい。行政はサポートする形が一番と考える。

災害時等における協力体制に関する協定書

要旨 昨年11月、鹿島建設、竹中土木、戸田建設の三社で構成される設楽ダム本体JV体制工事事務所と設楽町の間で、災害時等・平常時における協力体制に関する協定が結ばれた。

質問 災害時等・平常時の協力体制とは。

企画ダム対策課長 災害時、自社の災害応急対策業務を行う余力の範囲で、平常時、JV工事事務所の通常業務の余力の範囲で協力をいただく。

農業の行方

質問 町内の専業農家の経営種別件数の推移を伺う。

産業課長

経営種別	2005年度件数	2015年度件数	2020年度件数
花 卉	17	11	3
畜 産	14	10	5
野 菜	76	48	33
米	216	151	76

質問 兵庫県佐用町や岡山県西粟倉村のように町が一次産業を牽引するお考えは。

産業課長 期待に応えられる具体的な活用を現段階では回答できないが、現行の支援制度を活用し、就業、施業意欲と機運を高める取組を進める。

質問 「後継者がいないのは食べていけないから、食べていけるなら喜んでやりますよ」。この声に町としてすべき施策は。

産業課長 儲かる農業へと町の施策もシフトしている。その為に町の独自事業として「宣伝力アップ補助金交付事業」がある。「やわ恋もち」と命名されたもち米の商品化も進めている。



原田 純子 議員



① スマホで撮って
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



田中 邦利 議員



QRで動画で見よう!

北設広域情報の民間移行とテレビのみ世帯の利用

質問 移行により、ネット速度が上昇する反面、テレビのみ世帯の利用料は（テレビと卓上電話セットの特別対応に移行しなければ）1,100円から2,670円に大幅値上げになる。年金暮らしの高齢者世帯には打撃であり、テレビは生活上欠かせないものだから、負担軽減策を採れ。国県の補助や支援金の拡充を求め、テレビのみ世帯の料金倍増を回避をせよ。移行については、住民への説明を十分に行え。

企画ダム対策課長 高齢者にとってテレビ視聴は必要不可欠。受信できる環境づくりは必要だ。テレビのみ世帯利用料倍増の回避は、条件不利地域の改善の声を届けることで実現したい。説明会においては、テレビのみプランはないことと、テレビ+電話の特別対応プランについて、丁寧な説明をする。

質問 テレビのみの人たちを切り捨てるな。

町長 町の負担として情報ネットに4,000万円ずつ支払いをしている。

テレビの視聴料が高くなるのは大きな懸念材料だ。国の責任においてきちんとやっていただきたいというお願いをしている。いろんな協議をしたが、現況においてはこれが最善の方法であり、今のところ町として補助をする考えはない。

山村都市交流拠点施設用地の活用や施設の内容の検討は

質問 用地造成完了予定の8年度から施設着工までの間、土地の有効利用をどう考えているのか。

企画ダム対策課長 したら夜市のイベントや設楽ダム見学ツアー特別版などの取組みができるよう東三河広域連合に働きかけていく。また、更地の状態が続くようなら有効利用するよう呼びかけていく。

質問 広域連合が9年度から民間活力導入可能性調査及び基本計画の策定を行う予定になっているが、その前に設楽町としての要望をまとめておく必要があると思うがどうか。

企画ダム対策課長 アウトドアカレッジなどを通じて、住民や関係団体から出された意見を踏まえながら、具体的な整備内容をまとめていきたい。

質問 山村都市交流拠点施設の土地を利用する形で、毎年東三河の小学生6年生全員に建設中の設楽ダム現場を見学してほしい。土屋町長から各市町村長に見学を行う呼びかけをする考えはないか。

町長 水の大切さや森林機能を考えるのに、ダム工事現場の見学は良い機会だと思うので、働きかけを行っていきたい。

設楽ダム見学ツアーの年間実施は

質問 設楽町観光協会と協力して、設楽ダム見学ツアーの年間実施や案内のための有償ボランティアの育成を行ってほしいと思うがどうか。

産業課長 見学ツアーは、観光協会の収益事業として取り組んでいきたい。若手ガイドや興味のある人を対象に募集する。



金田 敏行 議員



QRで動画で見よう!

照明のLED化について問う

令和5年11月にスイスで行われた、水銀による健康被害や環境汚染を防ぐため水銀の使用や排出を国際的に規制することを目的とした「水銀に関する水俣条約」の締約国会議で、2027年末までに蛍光灯の製造禁止が決まった。2025年末までに電球型蛍光灯が、2026年末までにコンパクト型蛍光灯が、そして2027年末までにすべての蛍光灯が製造禁止される。各自自治体としてタイムリミットが迫っている今日早急に対象施設と照明機器器具数を把握し対策を検討する時期に入っていると思う。

質問 LED照明に改善が必要な町内の施設は。

総務課長 町内で142施設。庁舎の8割と小中学校で2割が改修済。

質問 蛍光灯の在庫はあるか。 **総務課長** 在庫は30本程度。

質問 緊急時の対応は出来ているか。 **総務課長** 現在は出来ていない。

質問 今後、故障した機器から交換するのか、計画的にLEDに交換するのか。

総務課長 主要施設を優先的から交換したい。

質問 一斉にLED化に進むことにより資材不足に陥る。早い着手が必要では。

総務課長 改修費に300万円ほどかかるが財政が厳しく早期着手は難しい。優先順位をつけて整備する。

質問 LED照明に交換するためには多額の費用が必要であるが、その財源は。

町長 町独自の財源は厳しいので、国・県のいろいろな補助金を採している。

質問 蛍光灯からLED化に変えれば電力の消費量は大きく減少する。そこで出る財源の考えは。

総務課長 その考えは十分承知している。



原田 直幸 議員



① スマホで撮って
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

議会活動報告

1月

- 7日 議会運営委員会
議会臨時会
議会活性化委員会
- 8日 東三河8市町村長を囲む新春懇談会(豊橋市)
- 12日 設楽町はたちを祝う会
- 15~16日 設楽町議会行政視察(兵庫県佐用町・岡山県西粟倉村)
- 17日 北設情報民営化説明会
- 20日 STATION AI視察(名古屋市)
- 24日 JA愛知東新春懇談会(新城市)
- 27日 三遠南信、浜名湖西豊橋道路建設促進議員協議会総会(豊橋市)
三遠南信サミット(豊橋市)
- 28日 北設楽郡正副議長会議
例月出納検査
- 30日 東三河広域連合10周年記念講演



2月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 議会活性化委委員会
- 5~6日 東三河広域連合議会定例会(豊橋市)
- 19日 ローカルSDGs奥三河フォーラム
- 20日 奥三河ビジョンフォーラム新春懇談会(新城市)
- 21日 議会全員協議会
- 25日 北設広域事務組合議会定例会
- 26日 北設楽郡正副議長会議(東栄町)
例月出納検査
- 27日 議会運営委員会

3月

- 4日 議会定例会(第1日)
予算特別委員会
- 7日 中学校卒業式
- 9日 消防団観閲式
- 10日 議会運営委員会
- 13日 議会予算特別委員会
- 14日 議会設楽ダム対策特別委員会
- 17日 議会予算特別委員会
議会総務委建設委員会
- 18日 議会予算特別委員会
議会文教厚生委員会
- 19日 小学校卒業式
議会定例会(第2日)
- 21日 清嶺保育園閉園式
議会運営委員会
- 22日 田口宝保育園閉園式
- 25日 議会定例会(第3日)
- 27日 例月出納検査
- 28日 IGアリーナ完成引渡式(名古屋市)



6月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場 議場
時間：午前9時から

- 6月5日(木) 開会・一般質問・提案説明
- 6月10日(火) 総務建設委員会
- 6月12日(木) 文教厚生委員会
- 6月16日(月) 設楽ダム対策特別委員会
- 6月20日(金) 委員長報告・討論・採決・閉会

(設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から)(日程は変更になることもあります)

広報編集委員 委員長：村松純次 委員：七原剛 原田直幸 原田純子 村松一徳